

京都教育大学大学院連合教職実践研究科年報投稿要領

1. 論文、実践報告（以下、論文等）の投稿は、未発表のものに限る。但し、口頭発表プリントはこの限りではない。
2. 論文等は、1行42字で35行（タイトル氏名等に7行。余白は、上：21mm 下：27mm 左：20mm 右：20mm）とし、12枚以内とする。図表も制限枚数に含めるものとする。
3. 投稿論文は、1月15日を提出期限とする。
4. 投稿論文以外は、2月28日を提出期限とする。
5. 原稿の提出方法等の詳細については、連合教職実践研究科ホームページの指示に従うものとする。
6. 年報に投稿する場合には、個人情報の保護など人権への配慮等に十分に留意するものとする。
7. 年報に掲載された論文等及びその他の記事は、インターネット上で公開する（原則として、冊子体での発行は行わない）。その扱いは、以下の通りとする。
 - ① 論文等及びその他の記事の複製権及び公衆送信権の行使については、国立大学法人京都教育大学に委託するものとする。
 - ② ①の規定は、著作者本人による論文等の利用（複製、インターネット上での公開、著書への収録等）を妨げるものではない。
 - ③ 共同執筆の場合は、筆頭者の責任において著作権問題を処理すること。
8. 別刷りの作成および送付は行わない。
9. 参考文献は、文末にまとめて記すものとする。
10. 本文と引用文献等のフォントは同一とし、サイズは10.5ptとする。
11. 引用文献の示し方は、以下の例に従うものとする。
 - 片山紀子（2008）『アメリカ合衆国における学校体罰の研究』風間書房。
 - 徳永俊太（2007）「戦後イタリアにおける歴史教育理論の変遷—歴史学と歴史教育の関係に着目して—」『教育方法学研究』第33巻、pp.85-96。
 - Dewey, J. (1933) *How we think.: A restatement of the relation of reflective thinking to the educative process.* Boston: Houghton Mifflin Company.
 - Loughran, J. J. (2002) “Effective reflective practice: In search of meaning in learning about teaching.” In *Journal of Teacher Education*, 53(1), 33-43.

付記 本投稿要領は、『京都教育大学大学院連合教職実践研究科年報』第12号より適用する。